

JUNKU トークセッション

2018年9月5日 (水) 19:30～

『カール・バルト 未来学としての神学』
(日本キリスト教団出版局) 刊行記念

現代日本で、キリスト教神学は 何かの役に立つのか？

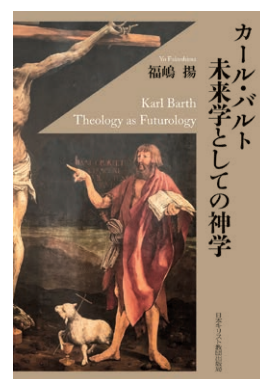
福嶋 揚

(キリスト教神学、倫理学)

キリスト教神学は、ヨーロッパで最も歴史ある学問です。しかし、この古色蒼然とした伝統的学問が、今、この日本社会において、果たして何かの役に立つのでしょうか。

20世紀最大の神学者と言うべきカール・バルトという人がいます。

20世紀の世界大戦の危機を背景として生まれた彼の神学を読み解きつつ、それ以上の破滅的な危機に直面する今こそ、神学の意義についてお話ししたいと思います。



【講師紹介】 福嶋 揚 (ふくしま・よう)

1968年生。1992年東京大学文学部倫理学科卒業。1997年東京大学大学院博士課程修了(人文社会系研究科倫理学専攻)。チュービンゲン大学福音主義神学部を経て、2008年ハイデルベルク大学神学部にて神学博士号(Dr.Theol.)取得。現在、青山学院大学、東京神学大学、日本聖書神学校にて兼任講師。
著書：『カール・バルト 破局のなかの希望』(ぶねうま舎、2015年)。他。

☆会場…4階喫茶コーナーにて。入場料1,000円(ドリンク付き)。定員40名。

☆受付…事前のご予約が必要です。1階サービスコーナーもしくは電話にてご予約承ります。

☆トークセッション当日の開場は、開演時間の30分前からとなっております。

ジュンク堂書店 池袋本店

TEL : 03-5956-6111 FAX : 03-5956-6100

20世紀最大の神学者バルトの死から50年を記念する、新しい神学入門。

カール・バルト 未来学としての神学

2018年
7月25日
刊行予定

ふくしま よう
福嶋 揚 著

1968年生。1992年東京大学文学部倫理学科卒業。1997年東京大学大学院博士課程修了（人文社会系研究科倫理学専攻）。チュービンゲン大学福音主義神学部を経て、2008年ハイデルベルク大学神学部にて神学博士号（Dr.Theol.）取得。現在、青山学院大学、東京神学大学、日本聖書神学校にて兼任講師。
著書：『カール・バルト 破局のなかの希望』（ぶねうま舎、2015年）。他。

四六判・並製・200頁・本体1,800円＋税

ISBN978-4-8184-1009-1 C0016

日本キリスト教団出版局

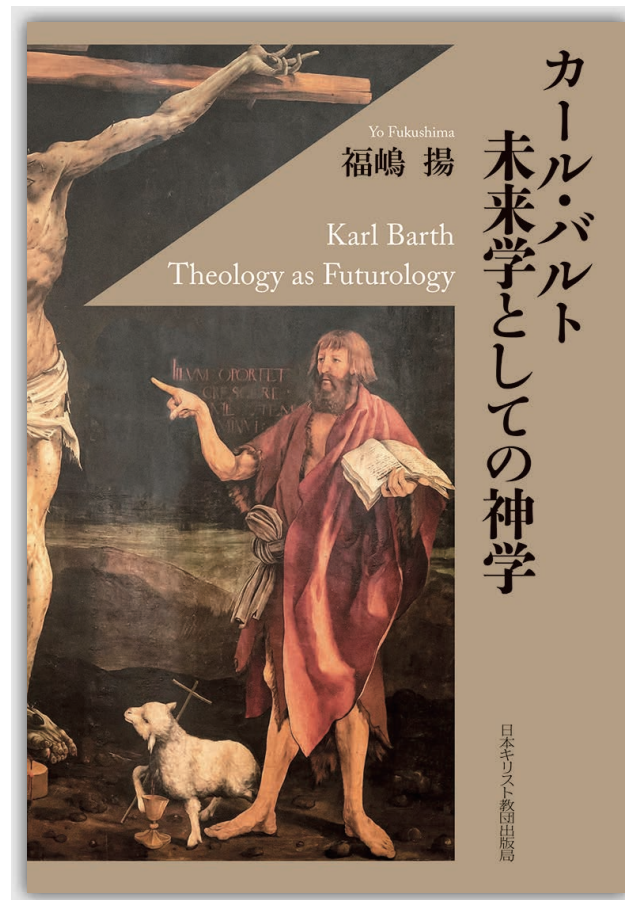
現代世界を覆う闇。

その彼方から射す曙光。

十字架からほとぼしる、未来の光を指し示す神学。

目次より

- 序章 「あなたは生きていてよい」——現代に語りかける福音
- 第1章 未知の言葉が語りかける——バルト神学の誕生
- 第2章 未知の言葉を聴きとる——バルト神学の礎
- 第3章 未来は自由と愛に満ちている——バルト神学の展開
- 第4章 未来は〈壁〉を越えて到来する——バルト神学の地平



日本キリスト教団出版局 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
TEL03-3204-0422 / FAX03-3204-0457